

メンタリング入門コース

新人や若手、転入者の指導・支援者である「メンター」の役割を理解し、 当事者であるメンターが「何をどうすべきか」を具体的に学びます。

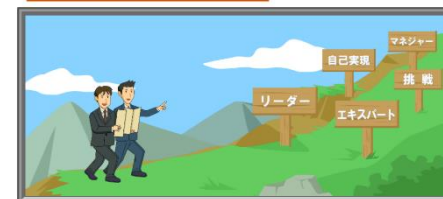
新人や若手転入者の支援者としての心構え、すべきことをeラーニングで学びます。メンターの役割、コーチングの基本、メンティ（支援対象者）の「こころ」のサポートなど、画面上の登場人物とともに、ケースを通して学習を進めます。メンターがよく遭遇する9つの状況対応を学びながら、メンティの戦力化だけでなくメンター自身の成長をもねらうコースです。

解説 1

メンター=身近な支援者
メンティ(またはプロデジエ)=支援を受ける人

© 2006, 2014, 2020 JMAM

■ メンターのキャリア的機能



<本コースのねらい>

- 受け入れ、仕事の指導、悩み事の相談など、想定される9つの状況への対応を具体的に学びます。
- ケースのアニメやセルフチェックなど、WBTならではの機能で楽しく飽きずに学習できます。
- ポイントがコンパクトにまとまり、用語解説はリンクで学習するなど、メリハリのある構成です。

<コースカリキュラム>

第1章 メンタリングにあたって	1-1 何で私がメンターに!?～メンターとは何かを知る 1-2 メンターって言われても～メンターとしての自己イメージ・目標をつくる
第2章 メンタリングを始める	2-1 初めてのメンタリング～メンティと目標を共有する 2-2 ウマが合わないかもしれない～しつけと多様性を理解する
第3章 仕事の進め方を教える	3-1 仕事をさせてはみたけれど～仕事の任せ方 3-2 たかが質問、されど質問～質問への対応 3-3 クレームがやってきた！～メンティの失敗への対応
第4章 職場生活をサポートする	4-1 もしかして、ココロの病気…?～ストレスとストレッサーを理解する 4-2 ワタシ、辞めたいんです～メンタルな支援方法を理解する

<概要>

受講対象者	新入社員や異動による「部門新人」の育成を担当する若手～中堅社員
監修	● 渡辺直登 [慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授]
仕様	● 想定学習時間：4 時間 ● 最短実行時間：30 分 ● テスト数：2（第1回 20問 第2回 20問）